

令和5年度学校説明会（保護者向け）スピーチ原稿より

京都大学文学部 1 回生
茨木高校 7 5 期卒業生

実は私は茨高に入学した時、高校はただの中学校の延長、大学受験への準備程度にしか考えていなかった気がします。けれど、ここで3年間学べたことはとても幸運なことだったと今では思います。茨木高校では多くのことを学びたくさんのかけがえのない経験ができたのですが、それは連綿と続く行事があり学内外での豊富な学びの機会があり良い先生方がいる茨高だからできたことです。個人的な思い出ではありますが、私の茨高での3年間についてお話して、実際の行事や授業、雰囲気について知っていただけたらと思います。

私はコロナ禍の最中にコーラス同好会に入部しました。マスクを外して歌えない、冬でも常に窓を開けていないといけない、など我慢の多い時期が続きました。しかし試行錯誤しながら友達と練習したことを今では懐かしく楽しかったなあと思います。そして私の3年間をお話しするならば音楽会について話すことは避けられません。この音楽会は、芸術の授業で音楽を選択した生徒によって行われ、ベートーヴェンの第九を全員で合唱したり、2年生の音楽選択者はミュージカルを一から作り上げたりします。また音楽選択の生徒が主体となってホールとの交渉から当日の運営まで行います。75期の時はまだコロナで状況が二転三転する時期だった為ミュージカルの練習もホールとのやりとりも手探りで進んでいきました。合唱やミュージカルでマスクは必要か、どれだけ距離を取らなければいけないのか、音楽選択者全員での第九合唱はしてもいいのか。簡単には決められないことが多く大変だった分、音楽会が無事成功した時の達成感と感動は一入でした。また第九合唱にはソロパートがあり毎年8人のソリストが選ばれ、私は2年間アルトのソリストをしましたみんなの前に立ってソロを歌うあの興奮と楽しさは一生忘れないだろうと思います。

次に体育祭についてお話します。2年生の前期に生徒会執行部、3年生の時に体育祭の副マスコット長として体育祭に関われたことで、かつて日本一とも称された茨高の体育祭を最大限楽しむことができたように思います。執行部では風紀委員長をしながら、体育祭の時は主に3年生各団の衣装長と先生との橋渡しをして衣装制作をお手伝いしました。そうした中で衣装長達がとても苦勞して作り上げた衣装が、他のダンスや応援団と違って得点対象ではないことを知り腑に落ちない思いがしました。しかし翌年の体育委員長がそれを鑑みてイバコレという衣装と応援旗のお披露目を演目に加えてくれました。衣装長と、同じく苦勞が報われにくい副団長達が日の目を見る結果となり、嬉しくなりました。3年生の時にはマスコット作りを主導しました。各セクターのリーダーは前年の先輩方からノウハウ

を教えてもらってみんなを引っ張ります。私も最初は自分よりも大きいマスコットを設計図から作るなんて到底できないと思っていましたが、先輩方も同じように悩み、その末に得たコツや改善点を教えてくださったので何とか完成させることができました。このようにずっと昔から受け継いだやり方を少しずつ改良しながら、生徒主体である大規模な体育祭を毎年成功させていることは誇らしいことだと思います。

この他にも楽しく貴重な体験ができる機会がたくさん用意されています。生徒の投票で行き先を選び企画運営も生徒が行う宿泊野外行事や、50kmもの道のりを放課後から翌朝にかけて歩き切る妙見夜行登山。また高大連携プログラムや外部セミナーからの呼びかけも豊富です。

これだけ行事があると学業との両立を心配される方もいらっしゃると思いますが、どの程度の積極性で参加するかは生徒に委ねられています。勉強一筋の人がいれば部活一筋の人もいますし、勉強も部活も行事も全部頑張るんだという人もいます。飽く迄自主自律の校風なのでもちろん楽な方に流れる人もいます。ただ全体として勉強へのモチベーションは高いと思います。体育祭は3年の9月頭に行われるため、夏休みは練習と勉強との両立が大切になりますがみんな練習が終われば自習室や塾に向かうルーティーンができていたようです。私も夏休みはひたすらマスコット用の竹を切っていたので他校生に遅れをとるのではないかと正直不安でしたが、1年生の時から少しずつ勉強を頑張っていたこともあり制作や練習と並行しての勉強で問題ありませんでした。そして体育祭が終わった次の日から明らかに3年生の空気が変わります。みんな本気で勉強に向かっていて、互いに士気を高め合う雰囲気があり、私はその雰囲気がとても好きでした。

また茨高の先生方は本当に良い先生ばかりだったな、と大学の授業を受けてから改めて思いました。高校以降の学びの礎となるジェネラルな知識をわかりやすく、時には体感的に教えていただきました。塾は安心感を買うもので、内容的には学校の授業と自習だけで十分だと思います。授業外の勉強のサポートも進路指導も手厚く安心感がありましたし、過度に干渉せず一歩引いて生徒の成長を見守り、求めた時だけ手助けしてくださる雰囲気がありました。

そして茨高にはいろんな人がいますが、互いの人格を尊重する寛容な雰囲気があると思います。尊敬できる人がたくさんいて、友達から学ぶことが多い3年間でした。皆さんのお子様が様々な興味を開拓して貴重な体験をして豊かな高校生活を過ごすのに茨高はとても良い学校だと思います。以上です、ご清聴ありがとうございました。